



潮路っ子

令和5年 5月31日 第2号

発行責任者 潮路小学校長 藤村輝之

体験と成就感を大切に

校長 藤村輝之

新緑と爽やかな風の中で過ごした5月が過ぎ、初夏の香りが漂う頃となりました。毎朝、玄関先で子供たちを迎えていると、朝の気温が少しずつ高くなっていくのがわかります。

5月の連休が明けた後も、保護者の皆様・地域の皆様のご協力により、大きな事故なく安全に過ごすことができました。しかし、全国では児童を巻き込んだ痛ましい交通事故や不慮の災害による事故も発生しておりますので、引き続き安全指導をきめ細かく行っていきたいと思います。

さて、先日は、保護者や学園の先生方、学校運営協議会委員の皆様にお手伝いいただきまして、無事、畑おこしとグラウンドの環境整備を終えることができました。教育活動にご支援いただいておりますことに心より御礼申し上げます。ご協力誠にありがとうございました。

現在、学級菜園づくりを始めたところです。今年は、どれくらいの野菜が実るでしょうか？植物の成長過程と実りの様子をしっかりと観察しながら収穫を目指していきます。

また、5月19日は、天候にも恵まれ、全校遠足が実施されました。6年生から順に学校を出発し、目的地の風太公園を目指して歩きました。公園では、学年も関係なく広いグラウンドでおにごっこやサッカーを楽しみ、タモ網を持っている児童は、虫を採集して見せてくれました。今年は、お昼ご飯も友達と向き合って食べることができました。帰りの時間までたっぷり思い出をつくることができました。

帰校後に玄関ホールで行われた全校の終わりの会のなかで感想を伝える場面では、半数以上の子供が挙手していました。その内容も、自分自身が体験で得たエピソードを織り交ぜた充実したものでした。やはり、心から満足したことや、やり切ったと思える成就感

は、かけがえのない時間となって胸に刻まれていくのだろうと感じました。

これから運動会を目指して練習が本格的に始まります。今年度の運動会のスローガンは、「勝利！本気！全力！あきらめない強さ」です。子供たちがねばり強く取り組もうとする“やる気”を感じます。学校では、運動会の取組・体験を通して、体を鍛え、がんばる心を培い、考えて行動できる子供の育成を目指していきます。次のような内容の思いを込めて活動を進めます。

◎運動の取組

走る・表現する等目標をもって行動すること。失敗を恐れず練習を積み重ねること。

◎協力の取組

集団の一員として責任をもって行動すること。一人はみんなのために みんなは一人のために考えて行動すること。

◎全力の取組

練習から手を抜かないこと。最後まであきらめることなく競技・表現すること。

今後も潮路っ子29名一人一人のがんばりや良さが運動会本番で発揮できるように、笑顔で楽しく、実体験から得る成就感を存分に味わえるように学校経営、学級経営を進めてまいります。潮路の子供たちは、「磨けば光る地域の宝」です。こうした行事活動を通じて、学校と家庭・地域が響き合う関係を太く強くしていくことがとても大切と考えていますので、これからもご支援・ご協力よろしくお願いいたします。

気温も上昇してきましたので、練習の疲れに限らず体調を崩しやすい季節でもあります。ご家庭でも子供たちの体調管理には十分気をつけていただき、6月11日（日）の運動会当日は、青空の下で子供たちや保護者の皆様、地域の皆様の笑顔があふれる運動会となることを願っています。

ひまわりの絆プロジェクト



3・4年生がひまわりの種をまきました

平成 23 年、京都府内で発生した交通事故で 4 歳の男の子が亡くなりました。

ご両親は、男の子が生きていた証を残したいと、男の子が育てていたひまわりの種を警察官に託したのです。

その後、ご両親の思いと交通事故根絶の強い願いが「ひまわりの絆プロジェクト」として、全国で取組が行われています。

本校でも、命の大切さ、交通事故防止の思い込めて、ひまわりを育てていきます。

京都府警 HP →



運動会に向けて



5 月 24 日の全校体育の時間から「よさこい」の練習を始めました。「よさこい」は、一つ一つの動作にキレが必要です。かっこよく演舞できるように練習を積んでいきます。運動会当日の演舞をお楽しみに。



全校体育



5 月 29 日の全校朝

会で、運動会に向けた「結団式」が行われました。紅組団長、白組団長が「団結して勝とう！」と呼びかけました。

全校体育の時間には、団長が中心となって、大玉転がしのリレー順を決めました。作戦を立てている高学年のメンバーは、真剣でした。

歩いてますか？ <遠足> 5・6年：8000m (13000 歩)、1~4年：4000m (7000 歩)

5 月 19 日 (金) に遠足に行きました。楽しむことも目的でしたが、子供たちが歩くことも大切な目的でした。

さて、保護者の皆さんは歩いていますか？

令和元年「国民健康・栄養調査」(厚生労働省)の結果

男性 6,793 歩 / 1 日

女性 5,832 歩 / 1 日

R2~R4: コロナのため
調査未実施



厚生労働省のホームページには、調査結果が出ています。全国平均の数値は、距離に直すと 4000m 程度です。健康を維持するための「日常生活における歩数の目安」も示されていて、男性 9,200 歩以上、女性 8,300 歩以上とのこと。

北海道は車で、ドア to ドアが当たり前になっています。子供たちには、健康に過ごしてもらいたいです。そのために、大人も手本を見せていきたいところです。



読書活動の推進

本校では、子供が、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていくために読書活動を推進しています。

5月から、ボランティアの皆さんの協力を得て、「読み聞かせ」を行っています。

また、十社の会の方が、学校に児童図書を持ってきてくださり、児童が学校図書館に置いてほしい図書を選定する活動も行っています。

4月の目標「4冊」は、9名の児童が目標達成しました。

今後も、読書活動を推進していきます。ご家庭、学園でも声掛けをしていただきますようお願いいたします。



福森さんの読み聞かせ



カブトムシの幼虫



学校の畑には、たい肥を入れてもらっています。プロの方が牛糞から作ったものです。この中に、カブトムシの幼虫が混じっていました。何匹かを飼育ケースに入れて、理科室で育てています。

実はカブトムシはもともと北海道にはいない昆虫です。北海道ではカブトムシの様な外来種のリスト「ブルーリスト」を作成し、生息域を広げないよう注意を促しています。子供たちには、このような事実を知ってもらい、幼虫からサナギ、成虫へと変わっていく姿を楽しんで欲しいと考えています。(飼育者:カブトクワガタ少年だった教頭)

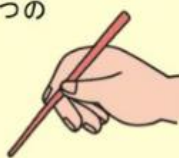


はしの持ち方 練習しましょう



高学年の給食指導では「はしの持ち方」を学習しました。残念ながら、多くの児童が「正しい持ち方」をすることができていませんでした。中学年の児童もできていませんでした。大人になって、はずかしい思いをするのは子供たちなので、「正しい持ち方」が、できるように練習させてみませんか?

①正しいえんぴつの持ち方で、はしを1本もつ。



②はしを「1の字」を書くようにたてにうごかす。



③もう1本のはしを親指のつけねから、なかゆび、中指とくすり指の間に通す。



④上のはしだけをうごかすようにれんしゆうする。



まよいはし



なみだばし



よせばし



さしはし



もちばし



はしわたし(ひろいはし)

←良くないはしの使い方

はしのマナーも身につけさせたいところです。私たち大人もつい、やってしまうこともあるかと思いますが、子供たちに良い見本を見せていきたいところです。